

## 第1期決算の概要

当社における平成17営業年度決算は、その設立時（平成17年10月1日）から平成18年3月31日までの半年間の決算数値です。また、勘定科目については高速道路事業等会計規則の規定に基づいています。

### 貸借対照表

#### 【資産の部】

- (1) 資産合計6,570億円のうち、流動資産が4,342億円、固定資産が2,226億円となっています。
- (2) 流動資産のうち1,918億円を仕掛道路資産が占めています。仕掛道路資産は高速道路の新設、改築、修繕または災害復旧事業における工事中の資産で、機構（独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構）に未だ引渡しをしていない資産のことです。

#### 【負債の部】

- (3) 負債合計5,458億円のうち、流動負債が2,314億円、固定負債が3,144億円となっています。
- (4) 固定負債のうち1,957億円を道路建設関係社債及び同長期借入金が占めています。道路建設関係社債は全額が政府保証債で、600億円発行しました。

#### 【資本の部】

- (5) 資本合計は1,112億円です。

### 損益計算書

#### 【営業損益の部】

- (6) 高速道路事業営業損益は、営業収益3,548億円に対し営業費用3,411億円と、差し引き137億円の営業利益となりました。営業収益のうち料金収入は3,349億円、営業費用のうち管理費用は983億円となっています。

( 7 ) 関連事業営業損益は、営業収益 8 2 0 億円に対し営業費用 8 0 6 億円と、差し引き 1 4 億円の営業利益となりました。関連事業のうち直轄高速道路事業及び受託事業を除いた収益事業にかかる営業収益は 2 5 億円、営業費用は 1 1 億円、営業利益は差し引き 1 4 億円となっています。

( 8 ) この結果、高速道路事業と関連事業を合わせた全事業営業利益は 1 5 1 億円となりました。

#### 【営業外損益の部】

( 9 ) 営業外収益は 1 7 億円、営業外費用は 1 4 億円となり、当期の経常利益は 1 5 4 億円となりました。

( 1 0 ) 法人税等を差し引いた後の当期純利益は 6 1 億円、当期末処分利益は 6 2 億円となりました。

#### 利益処分案

( 1 1 ) 当期末処分利益のうち高速道路事業の利益に相当する 5 5 億円を別途積立金とし、関連事業の利益に相当する 6 億円を次期繰越利益とします。

なお、当社設立時の貸借対照表と比較した場合は以下のとおりとなりました(参考資料をご覧ください)。

資産合計は 6 , 5 7 0 億円と設立時と比べ 1 , 1 0 8 億円の増加となりました。このうち、流動資産は 1 , 1 2 4 億円の増加、固定資産は 1 8 億円の減少となっています。

負債合計は 5 , 4 5 8 億円と設立時に比べ 1 , 0 4 6 億円の増加となりました。このうち、流動負債は 3 2 9 億円の増加、固定負債は 7 1 7 億円の増加となっています。

資本の部は設立時に比べ 6 2 億円の増加となりました。